



## 2023年度後期講座

### 理系・文系

#### 法のコンパス グローバル社会の新秩序形成に向けて [文系]

presented by 北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター／大学院教育推進機構リカレント教育推進部

ロシアのウクライナ侵攻、グローバルサウスの勃興、気候変動、東シナ海の資源問題等、世界各地で生じている出来事は私たちの日常生活と地続きの関係です。今回の文系コースでは、法学研究科の研究者が、日々刻々とグローバルに展開していく国際社会の問題をより深く理解するための視座を提供する講義を行います。

開講日／9月～11月の土曜 午後1時～2時30分 (全8回)

場 所／北海道大学 理学部大講堂 [札幌市北区北10条西8丁目] 9/2、9/16、11/04、11/11

北海道大学 文系講義棟6番教室 [札幌市北区北10条西7丁目] 10/07、10/14、10/21、11/25

9月2日(土) グローバル化とアメリカの分断	会沢 恒 教授 比較法・英米法、 アメリカ研究	ニュースなどで言われるアメリカの政治・社会の分断は、グローバル化に対する態度の差とも関連しています。このことを、近時の事例を挙げつつ議論します。
9月16日(土) グローバル化と法秩序	尾崎 一郎 教授 法社会学	国家を基軸とする法秩序が、いわゆるグローバル化においていかなる課題に直面しているのか、それはどのように乗り越えられようとしているのか、検討します。
10月7日(土) 国際法とは何か	児矢野 マリ 教授 国際法	グローバル化した現代社会における、国際法の機能と限界について、国内法との関係にも留意しつつ、具体的な事例に触れながら解説します。
10月14日(土) グローバル化とフランス社会	中村 督 教授 ヨーロッパ政治史	グローバル化が進むなかで、今日のフランス社会がどのような問題に直面し、また、どのように変容を迫られているのかを、その歴史的特質を踏まえたうえで考察します。
10月21日(土) グローバル化時代の社会民主主義	前田 亮介 准教授 日本政治外交史	この授業では、保守一党支配が例外的に及ばなかった戦後北海道の歴史を紐解くことで、グローバル化時代の社会民主主義政党について考えたいと思います。
11月4日(土) 法の視点から見る「チャイナリスク」	徐 行 准教授 比較法・中国法(司法制度、国民の政治参加)	中国法と中国政治に対する理解を深めて、「総体国家安全観」に基づく法の整備と運用によって、日本(ひいては東アジア)が直面している「チャイナリスク」を検討します。
11月11日(土) グローバル経済のための私法秩序の形成	曾野 裕夫 教授 民法・国際取引法	国によって法律が異なることは、グローバル化した経済の円滑な運用の障害となります。そこで求められるのが「私法の国際的統一」です。その歴史・現状・課題についてお話します。
11月25日(土) 日本の人権保障の特徴	佐々木 雅寿 教授 憲法学	人権保障の内容が比較的充実している諸外国と比較して、日本国憲法による人権保障にはどのような特徴があるのかを解説します。

※担当講師・講義内容は、都合により変更になる場合があります

●受講料金／後期(9月～11月) 26,400円(税込) ●入学金／2,200円(税込)新規申込のみ

北大道新アカデミー事務局 札幌市中央区大通西3丁目6 道新大通館7階

道新文化センター内 ☎011-211-5300 (10:00～18:00、日曜・祝日・休業日を除く)

